

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 4 月 10 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (4/10 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約 2.0 m ³ /h	17.3 °C	103.1 kPa abs	A系: 0.01 vol%
		給水系:約 2.3 m ³ /h			B系: 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約 2.5 m ³ /h	26.6 °C	7.91 kPa g	A系: 0.06 Vol%
		給水系:約 2.0 m ³ /h			B系: 0.05 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約 2.4 m ³ /h	24.3 °C	0.25 kPa g	A系: 0.07 Vol%
		給水系:約 2.0 m ³ /h			B系: 0.07 Vol%

*:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (4/10 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	17.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	15.5 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	14.5 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	18.2 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 3号機 タービン建屋	3/27 9:49 ~ 4/10 9:50 移送実施
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	3/12 15:48 ~ 移送実施中

・H26/4/10 9:41 集中廃棄物処理施設においてサイトバンカ建屋からプロセス主建屋へたまり水の移送を開始。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (4/10 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

・H26/1/29~ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔については、掘りあがった温度測定用の孔にカメラを挿入して、トレンチ内部状況を再度、慎重に確認したうえで削孔開始することとしていたが、トレンチ内部の状況が確認できたことから、凍結管を設置するための削孔を実施中。
その後、実施している削孔作業と並行して、3/27 より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。

4/2 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。

4/10 13:13~ 2・3号機海水配管トレンチ内の高濃度汚染水については、現在、凍結止水に先行して可能な限り、

リスクを低減する目的でモバイル式処理装置を設置し、2号機海水配管トレンチについてはH25/11/14より、3号機海水配管トレンチについては同年11/15より、トレンチ立坑から汲み上げた滞留水を吸着塔に通し、建屋側の立坑に戻す循環運転により、トレンチ滞留水に含まれるセシウムの処理運転を実施してきた。

その後、セシウムについてはタービン建屋内滞留水中のセシウム濃度未満となったことから、2号機モバイル式処理設備については、吸着塔交換時にストロンチウム吸着塔に交換のうえ、同日よりストロンチウム処理運転を実施。

- ・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- ・H26/4/10 13:10 頃 5・6号機所内変圧器6Bにおいて、変圧器下部にある電線用ピット(約2m×約3m)に絶縁油と思われる油溜まりがあることを、パトロール中の当社社員が発見。変圧器からの油の滴下等は確認されていない。なお、当該変圧器については、現在使用されていない。また、同日13:37 双葉消防本部へ連絡を実施。同日14:40 双葉消防本部の確認において、危険物漏えい事象扱いと判断された。

【H4,H6エアータンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<トピックス>

- ・H25/12/10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エアータンク周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエアータンクパトロール実績(4/9)>

- ・高線量当量率箇所(β線による70μm線量当量率)は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エアータンク周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エアータンク周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は4/10 0:00 時点で約10,142m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<移送関係>

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1,2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1,2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔(No.1-16(P))からの地下水の汲み上げを適宜実施中。

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上